

秋の文化財・歴史資料 の曝涼・公開

プレイベント

[日時]2016年10月2日（日）13時～15時

- ① **[講演]** 「佐竹一族の遺産—公開寺院の周辺から—」
[講師] 高橋 修（茨城大学図書館長、人文学部教授）
- ② **[ガイダンス]** 「ここが見どころ！今年度公開の文化財・歴史資料」
[講師] 高村 恵美（常陸大宮市文書館 主任）
千葉 隆司（かすみがうら市郷土資料館 学芸員）
西野 保（常陸太田市教育委員会文化課 主査兼係長）
額賀 大輔（笠間市教育委員会生涯学習課 主事）

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

[主催] 茨城大学図書館 笠間市教育委員会 かすみがうら市教育委員会
常陸太田市教育委員会 常陸大宮市教育委員会

文化財・歴史資料を、それを伝えてきた地域住民や所蔵者の手で、「曝涼（ばくりょう）」（虫干し）というローコストな昔ながらの手法で保存・公開する事業が、常陸太田市の取り組みをきっかけに、周辺自治体にも広がりつつあります。

茨城大学で歴史を学ぶ学生たちも、解説に、「おもてなし」にと活躍中です。常陸大宮市に加え、今年度は笠間市・かすみがうら市でも、連携した曝涼・公開事業が行われます。このプレイベントでは、10月、11月の本番を前に、公開される文化財・歴史資料の魅力を詳しく解説します。

すべての事業が無料です。申し込み不要です。

どなたでもご参加いただけます。